

試合No.	C2	大会名	平成27年度 第26回 関東高等学校バスケットボール新人大会						
		期 日	平成28年 2月 6日(土)			会 場	小田原アリーナ		
女子1回戦	主 審	野口 浩正(指)			副 審	井筒 直子(神)			
	チ-ム名	1P	2P	3P	4P	延長	延長	合 計	
	正智深谷(埼玉)	13	4	17	6			40	
	作新学院(栃木)	5	15	12	19			51	

正智深谷(埼玉)

氏 名	NO	得点	3P			2P			フリースロー			リバウンド		A	ST	BS	TO	F
			成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	オフェンス	ディフェンス					
洲崎 志織	* 4	10	0	1	0%	5	13	38%	0	0		4	4	0	0	0	2	0
出牛 南帆	* 5	8	0	3	0%	4	9	44%	0	0		0	5	1	3	0	4	4
湯浅 帆乃果	* 6	0	0	1	0%	0	0		0	0		1	3	1	2	1	2	5
星 彩美	* 7	11	1	4	25%	4	11	36%	0	0		2	7	1	3	0	3	1
笹本 有紀	* 8	7	1	7	14%	2	14	14%	0	0		2	7	1	0	0	1	2
山崎 詩歩	9	4	0	0		2	3	67%	0	0		0	3	0	0	0	2	1
櫻井 美紅	10	0	0	0		0	2	0%	0	0		0	2	0	0	0	4	0
堀内 伶華	11																	
藤本 未祐	12																	
重野 寧々	13																	
齊藤 莉子	14																	
福島 帆奈美	15																	
真鍋 瑞希	16																	
小濱 麗華	17																	
木村 麻友香	18																	
コーチ	飯野 英利																	
合計		40	2	16	13%	17	52	33%	0	0	#####	9	31	4	8	1	18	13

作新学院(栃木)

氏 名	NO	得点	3P			2P			フリースロー			リバウンド		A	ST	BS	TO	F
			成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	オフェンス	ディフェンス					
加藤 花苗	* 4	2	0	3	0%	1	5	20%	0	0		0	8	5	9	0	1	1
高濱 彩翔	* 5	8	0	2	0%	4	7	57%	0	0		2	3	0	1	0	0	1
中野 理子	* 6	15	1	9	11%	6	12	50%	0	0		0	11	2	1	0	5	0
小嶋 望愛	7	0	0	1	0%	0	0		0	0		0	1	0	0	0	1	0
橋本 美香	8																	
内山 彩子	9																	
丸山 美怜	10	16	0	2	0%	8	11	73%	0	2	0%	2	8	1	2	0	2	0
江泉 綾香	* 11	3	0	1	0%	1	1	100%	1	2	50%	1	1	0	0	0	5	3
須永 麻美	* 12	7	0	0		3	9	33%	1	2	50%	1	5	0	2	0	1	0
伴 美波	13																	
渡邊 愛美	14																	
吉田 真由香	15																	
小野 愛実	16																	
福田 伊咲	17																	
篠塚 幸希	18																	
コーチ	渡邊 明美																	
合計		51	1	18	6%	23	45	51%	2	6	33%	6	37	8	15	0	15	5

戦評

<p>1P 両チームともにマンツーマンディフェンスでスタート。正智深谷は素早いパス回しから④⑧のシュートで得点を重ねる。対する作新学院は⑩のドライブなどで対抗するが、なかなかシュートが決まらない。正智深谷が13-5とリードし、1P終了。</p>
<p>2P 作新学院は⑩のゴール下シュートが決まり反撃開始。ディフェンスリバウンドも確実に奪いオフェンスをリズム良く展開する。連続得点で残り5分には逆転に成功。正智深谷はたまたまタイムアウトを取るも、リズムは変わらず、思うようにシュートが決まらない。作新学院が3点リードして前半終了。</p>
<p>3P 正智深谷はインターセプトから⑤⑦の速攻、作新学院は⑥⑫のドライブで加点。両チームともにリズム良くシュートを決め、一進一退の攻防が続く。正智深谷34-32作新学院で3P終了。</p>
<p>4P 立ち上がり作新学院はディフェンスのプレッシャーを強め相手のミス誘い、⑥の連続シュートで加点。対する正智深谷も、④⑧のシュートで得点を重ねる。終盤、正智深谷はチャンスを作るがシュートが決まらず、作新学院が速攻などでじわじわとリードを広げる。最後まで走り切った作新学院が勝利し、二回戦に駒を進めた。</p>